

シルバー *Silver*

しながわ

浴衣、かつては日本人にとってなじみで誰でもが容易に着慣れてきたものですが、最近はお祭りや花火大会でないとお目にかかれません。浴衣は日本人の歴史であり心のふるさとでもあります。



シルバー人材センターでは、和裁担当の会員さんが今でもお客様のご要望に応じて手縫いやミシンで浴衣を製作しています。お客様の好みのガラや模様の反物を、体型に合わせてご注文のとおり仕立てております。

また、最近では自分で着られないかたも多いようですが、そのような方にも気楽に着慣れて親しむことのできるように出張着付けも実施しております。

ご自分だけでなく、お子様にも一着仕立ててみてはいかがでしょうか。お仕立て料金は、材料等は別で6千円からになっております。この機会に一度お試しになってはいかがでしょうか。

ゆかた生地
(仕立て前)



日本の伝統衣装 着物姿は美しいですね。そして華麗で優しく豊かな気持ちにさせてくれます。私は和裁歴60年になります。ここまで続けて来られたのも第一健康であり、また回りの方々の支えもあり信頼して戴いている利用者さんのお蔭と感謝しております。一枚一枚、一針一針心を込めて丁寧に仕立てて居ります。多くの皆さんに着物を着て頂き、優雅な気持ちになって外出して頂きたいですね。

大井東地区会員 菊地 宣子



▲完成したゆかた

センター一丸となって就業安全の取り組みを推進しましょう。

これまでの事故を振り返って

ここ数年の当センターで発生した事故件数ご存知ですか？

H24年度23件、H25年度26件、H26年度26件でした。

H27年度も残念ながら8月末現在で8件の事故が発生しています。この数字は全く自慢にはならないもので、他のセンターの中でも常に上位に位置しています。

何故品川区シルバー人材センターでは事故件数が多いのでしょうか？

これまでの事故について少し冷静になって振り返ってみたいと思います。

様々な要因があったと言われているようですが、「注意散漫、自転車利用時の無理な走行、ちよつと気をつければ防げた」等の点が頻繁に挙げられています。自分の不注意・油断だと判断するのは簡単ですが、視力、身体機能の衰えを否めない高齢者にとっては、ある面においては致し方ないことと口惜しい思いをしている会員の方も多いのではないかと推察されます。

しかし、事故を防ぐためには、これならばという特效薬

はなく普段からの自己管理と安全意識の徹底を目指すほかはありません。

今回は、少しでも事故が減らせるように様々な取り組みをとりあげてみます。

その1 安全管理委員会の活動

安全管理委員会では、本年度も重点目標を掲げて取り組みを進めています。

その一つが就業途上・就業中の転倒事故防止です。この4月から理事会でも推奨された「つま先立ち体操」は、体力の衰えから硬くなっている身体に、微かでも柔軟さを回復させるように行っているものです。既に地区委員長会議や地区全体会でも必ず実施している姿が見られようになってきています。

会員の皆さんも是非毎日、起床時にでも、就業前にでも20回実践してください。この体操は継続することが大切です。

次に、安全管理委員による現場パトロールをほぼ毎月実施しています。これまでのように、現場を

委員が訪ねて安全就業について呼び掛けするだけでなく、会員と一緒に現場を巡回し安全チェックシートで施設や作業場所での危険状況などを確認し合い、これを本部に持ち帰ってさらなる安全対策に活かしています。

ところが、安全就業強化月間終了してまもなくの8月に剪定作業中の会員さんが事故にあってしまいました。

高さ2mの椎の木をロープで固定せず切ってしまい倒そうとした方向が微妙に違い、とつさに手で木を支えたところ木とフ



剪定作業中の植木班

ろ木とフエンスとの間に左手小指を挟まれ小指の骨折及び裂傷を負ってしまいました。

都内のあるセンターでは昨年、植木の剪定に絡む死亡事故が発生しました。こうしたことから安全管理委員会では、重篤事故には至らなかったと一旦は安堵したもの、このままでは重大事故に繋がりがかねないと判断し、安全管理委



就業前に全員で危険予知(KY活動)を確認しました。

員長を先頭にすぐ現在作業中の他の現場の特別巡回を実施しました。その中

で、キャタツ等の安全確認、確認など危険個所の発見予測を行い、十分注意して今後の作業をするようお願いをして終了したところです。

二つ目には自転車の事故防止についてです。やはり自転車事故が多いのが、当センターの特徴になっています。

自転車による事故には、自転車でのよる転倒や自転車同士の事故、歩いていて自転車にぶつけられる等も含まれます。

自転車を利用されている方は、交通安全の基本である信号や一時停止を必ず守っていますか。

事故は他人事ではないと考え、常に安全運転を心がけ、注意を怠らないようにお願いします。これからも生涯現役で活躍できるよう祈っております。

事故0を目指すことは無謀な幻想でしょうか？ 今こそセ

その2 自転車事故に遭った時には

昨年発生した重篤事故の他のセンターの事例ですが、60歳代前半の男性が就業現場へ徒歩で向かっている途中、交差点を青信号で横断しているところに前方より交差点に進入して右折してきた車に追突され亡くなられました。

青信号であったら何の危険もなく安全に進行できるものと思われがちですが、事例のように実際に事故に遭われてしまうことがあります。横断歩道、青信号は「進んでもいい」ではなく「進むことが出来る」ものだと言われています。大変、理不尽なことですがいつでも、どこに危険が迫っているのかわかりません。安全だと思われるところでも左右、前後をもう一度確認して行動することが重要だと論じられた一例でした。

ところで会員の皆さんは、自転車事故に遭われたことがありますか。当センターの会員も先日、自宅マンション前の歩道を自転車で行中後方からの自転車に追突され怪我をされました。幾つかの打撲はあったものの追突した

自転車は若年の女の子だったこともあり、その時には大した怪我ではないだろうと思っただけで済ましたところ、後日、痛みが徐々に出てきて医者に行ったら骨折しているとのことでした。このように事故直後は大した怪我ではないと思っただけで済ませたが、後日痛みが出てきて医者に診てもらったら骨折していたなどの事例が多く発生しています。

会員のみなさん、徒歩で行中に自転車に追突された、自転車で行中に事故に遭ってしまった。そんな時には、いずれの場合も速やかに最寄りの警察署に連絡をして実地確認してもらってください。事故の後で「あの時の事故は、こうだった、ああだった」と主張しても通らなくなることもあり、保険の補償や損害賠償を求められた時に事故証明などの発行ができなくなることもあるそうです。

必ず事故に遭った時には、被害者、加害者にかかわらず速やかに警察署に連絡することを心がけてください。また、万が一の場合、大変な補償を求められる場合もあります。あくまでも任意ですが当センターであつ旋してい

る自転車保険に加入しておくことも予防対策のひとつです。

その3 危険予知(KY活動)について

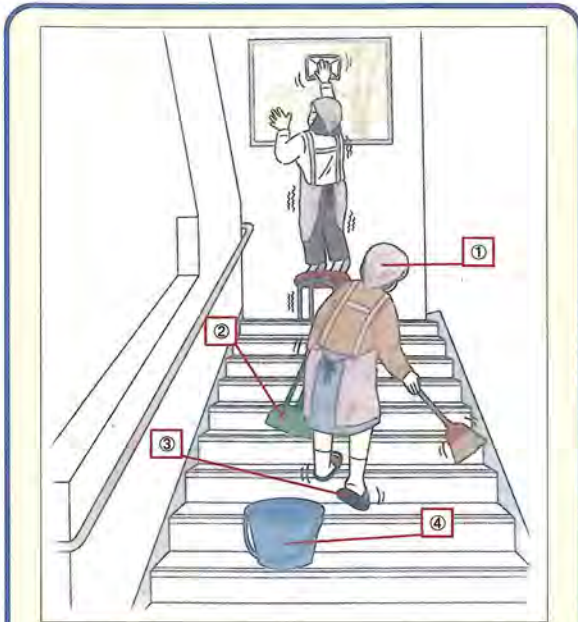
事故を防止するためには、実際の就業現場で危険を予知して「安全を先取りすること」が重要です。そのためにはまず就業を始める前に従事者全員で「危険なところはなにか」などを指摘して全員で共有し、さらに「どんな危険が潜んでいるか」などを話し合い「これは危ないなあ」の先取りをしていくこと、すなわちリスク要因を抽出することが重要です。

昨年実施したヒヤリ・ハットのアンケートでもいくつか事例がありました。一つのヒヤリ、ハットに29のリスク要因が潜んでいると言われていています。これらの抽出したリスクへの対策を一人ひとりが業務の中で確認し、作業に従事する前に危険を防止します。このプロセスが危険予知(KY活動)です。

ここで一つ例題を出します。左のイラストに清掃作業に従事している人がいます。下の方について危険な状態や予想される危険を4箇所あります。皆さんも洗い出してみてください。次ページへ



施設内の清掃を依頼されました。図の中の下で作業している人について潜んでいる危険な状態や予想される危険を4箇所洗い出してみましょう。また、それぞれ留意すべき点を考えてください。(例：上の作業員は、つま先立ちをして、不安定なため転落する恐れあり、不安定な四つ足の丸椅子を使用しているため、ずれて転落の恐れあり)▶適正な手摺のある踏み台を使用!



例題の回答

- ①後ろの確認をしていないので後方の障害物に踏いたり、階段を踏み外して転落の恐れあり。
- ②両手がふさがっているので、転倒の際受け身がとりにくい。
- ③サンダル着用のため、すり足で段差に踏いたり、滑って転倒する恐れあり。
- ④バケツが作業線上に置いてあるため、ぶつかったり踏いたりする恐れがある。

人間は誰でも、つい「ウツカリ」したり「ボンヤリ」したり、錯覚をします。横着して近道や省略もします。このような人間の特性行動が誤った動作などの不安全行動、いわゆるヒューマンエラーをもたらし、事故・災害の原因になります。

この不安全行動（ヒューマンエラー）をなくすためには、作業現場での整理整頓や器具類の点検をするなどの物の面の対策と、安全についての知識・技能教育などの管理面での対策が必要です。

またそれに加えて、一人ひとりが危険に対する感受性を鋭くし、行動の要所、要所で集中力を高めることが欠かせません。

危険予知（KY活動）は、このための活動です。

ヒューマンエラーそのものは事故原因ではなく、それを引き起こした要因が事故原因なので、なぜうっかりしたのか？なぜ見誤ったのか？その「なぜ」がこの活動のポイントになります。

先ほどの2ページに記載された植木班の事故は、まさにこの不安全行動（ヒューマンエラー）が引き起こしたものであります。

現在、安全管理委員も加わって再発防止への取組みを鋭意、進めているところです。今回は、この対策の進め方について触れていきます。



出店は、恒例のポップコーン販売とパターゴムで小さなお子様をはじめ大勢の方々に楽しんでいただきました。



い中での従事で大変だったと思います。皆さんの協力が会員増や仕事の受注に繋がってくれたいことを願っています。

七月一九日(日)梅雨も明けた猛暑の中、台場小学校で年に一度の区民まつりが開催されました。

シルバー人材センターも今年で四回目の参加となり、品川北地区の会員の皆さんにも張り切って参加して頂きました。

祭 品川第一地区

毎年、夏のこの時季、区内至る所で区民まつりが地元の町会等の主催で行われています。各地区の出し物や展示物は、その地域ならではの趣向が凝らされており、センターでは、こうした催しを会員募集や仕事の受注拡大の絶好の機会と捉えて積極的に参加しています。

七月一八日(土)、一九日(日)八潮地区では、例年のように各号棟の模擬店に混じって地区委員の皆様のご協力によりお菓子や飲みものの販売を行いました。

また、会員募集やお仕事の注文お受けしますの立て看板を掲示してPRに努めました。

祭 八潮地区

また、包丁研ぎやまな板削りのほり旗をご覧になったお客さんから『どこでやっているの？いくらなの？』などの問い合わせも寄せられ大変盛況でした。

ご協力いただいた会員の皆様、大変お疲れ様でした。

区民まつりに参加しました



夏期全体会が開催されました

中延地区

平成27年7月20日に荏原第4地域センターで開催。参加会員56名。

はじめに、品川区シルバー人材センターの現況についての説明、報告のち安全就業ではつま先立ち体操を全員で実施。1年続けている滝沢安全管理委員から「つまずきが減った」と実体験に基づき、つま先立ち体操を毎日続けることの大切さをお話いただきました。

講演 「道に着眼した品川の歴史について」

講師 品川区立品川歴史館 統括学芸員の拓殖信行様



旗岡八幡神社絵馬堂

『品川の歴史は古く、奈良時代に編纂された「続日本記」の記録では武蔵国に「荏原郡」が置かれたとあります。また、旗の台の

名前の由来は平安時代、源頼信が平忠常の乱を平定するために、下総(現在の千葉県)に行く途中に陣を張って源氏の旗を掲げたことから付けられました。旗の台にある旗岡八幡神社には品川区唯一の絵馬堂があります。

中原街道は、江戸時代の平塚市(神奈川県)に中原御殿があったことから由来され、東海道に先立つ重要な道となり徳川家康が江戸に入る時にも使用されたと言われています。別名「お酢街道」とも呼ばれ、その由来は平塚市で醸造されたお酢を江戸の將軍に献上するために使われたからです。現在でも荏原4丁目に平塚の碑があり慰霊祭が行われています。



平塚の碑

また、現在の池上通りと東海道線の間南北に通った旧鎌倉街道があり、昔から重要な役割をもっていました。

なお、当時の大井は、北は目黒川付近、南は多摩川付近、西は二子玉川付近までの広域にわたっていました。品川区の土地の特徴としては港町が、道によって江戸への出入り口として宿場町へと変化し、現在に至ります。以上が講演の内容です。馴染み深い場所の歴史や小噺もあり、熱心に聞き入る中でも笑い声もある楽しい講演となり、地域の歴史を知る減多にない地区全体会になりました。

八潮地区

今年夏初めて猛暑日35.5℃となった7月26日(日)、参加会員約40名。

さすが！元氣シルバー！暑さなどものともせず皆ハツラツとした笑顔で最初に全員で「つま先立ち体操」。和んだ所で全体会スタート。

講演 「熱中症について」

講師 品川保健センター 保健師 小山様

『大井消防署管内で6月から昨日までに「熱中症」で搬送された人数は25人。うち半数の13人が65才以上です。私自身の母親85才も「具合が



悪い」との事で家にかけてつけると、35℃近い部屋でエアコンもつけずなんと！布団をかぶって寝ていた。暑いと感じエアコンをつけようと思つた時には身体が動かなかったそうです。すぐに緊急搬送し事なきを得ましたが「熱中症」と診断されました。なぜ、高齢者は「熱中症」になりやすいのでしょうか？

- ① 体内の水分が減っている
 - ② 暑さを感じにくい
 - ③ のどが渇いたと感じにくい
- などが挙げられます。この事からも予防としてはとにかく

6ページにつづく



恒例のストレッチ体操

「のどが渇く前にこまめに水を飲む」「エアコンをつけて適温で生活する」事が大事です。」
 以上が本日の講演でした。今年の夏は、格別暑い様に感じます。会員の皆様どうぞご自愛下さい。その後、恒例の高橋まゆみ会員指導のストレッチャタイム。全員手・足・腰を曲げたり伸ばしたりで心と体をリフレッシュ。事業報告・会計報告などテンポよく進行し盛況のうちに閉会となりました。

大崎地区

35℃を超える猛暑日となった7月26日(日)、参加会員42名。大崎第一地域センターで実施されました。本日の講演「笑って笑って暑さを吹き飛ばしましょう」

講師 柏製作所社長

(元平塚4丁目町会長)

柏招男様

(柏様は…荏原4丁目に柏製作所を経営されていて、高い技術で宇宙航空研究開発機構(JAXA)の衛星部品等を製造しておられます)

『私も様々などころでお話をさせてもらっているが、綺麗な方を前にお話をするのは緊張するものです。でも今日は緊張しなくていいですね(笑)』

人は笑うことでアルファ波という脳波が発生し、ストレス解消や免疫力のアップ等、健康増進に繋がると言われています。』
 と言った調子で会場を沸かせ、綾小

路きみまろを彷彿させる、皮肉を交えたユーモラスなお話をたくさんいただき、会員の皆さんの笑い声が絶えない時間となりました。

講師の柏様は、お話の中でも触れておられましたが、お仕事と並行してこのような講演を行っているとのこと。背筋もピンと伸び、御年74歳という年齢を感じさせない若々しい方でありました。『笑い』と『仕事』が、若さや健康の秘訣と証明しているようで、私たちも是非ともあやかりたいものだと思います。

柏様が温めてくれた場の雰囲気そのままに、新山地区委員長・本多副会長の挨拶、全員参加でのつま先立ち体操を経て、おいしい食事をいただきながらのカラオケ・ビンゴ大会となり、健康の秘訣である笑顔が咲き誇った1日となりました。



〈講演〉元平塚4丁目町会長 柏招男様

各地区のこれまでの歴史などを取り上げていきます。

荏原地区のこれまでの歩み

荏原地区委員長 阿部昭男

荏原地区は、品川区シルバー人材センターの前身である品川区高齢者事業団発足時から活動を開始して来ました。

その当時は会員が百三十四名でありましたが、現在では、約三百九十名の会員をもつ大所帯の地区であります。

地域も荏原一丁目から小山七丁目と広範囲になっており、配布物などの仕事に従事する会員は少々大変ですが、会員一同和気あいあいとお仕事に、会員交流にと充実した日々を過ごしております。

私は、平成二十三年四月より歴代の諸先輩方の功績有る後を引き継ぐことになり、委員長として就任しました。この地区の特徴はチームワークが一番だと考えていますので、決められた地区委員会の開催に当たっては仕事の効率化を図る為にも、全員参加を目標にしております。

私が学生・社会人時代を通して経験・体験したことが少しずつ地区活動の一端になっていくと考えます。自分事で恐縮ですが、小学校四年生の時、合唱部に選ばれ入部、毎日の厳しい練習に耐え、励み五年・六年と毎日新聞、NHK二社小学校の部、合唱音楽コンクール(二年連続)男子だけの優勝は当時日

本で初めてでした。
 上記の経験を活かし荏原音楽倶楽部の世話人を現在引き受けてレッスンに励んでおります。

また、年間で二〜三回特養ホーム等ボランティア活動を実施していき、その成果もあって毎年数人がセンターに入会されます。

学生時代に経済学を専攻したことで、社会人時代AVメーカーでセールス及び管理職の経験が長かったことが人間力の向上に多少影響があったと考えていますが、その他にも失敗を恐れない自由な発想ができる環境にいたからだと考えます。そういう点では会社に感謝しております。
 この経験を生かした地区活動を委員長として指揮をとり会員様のご意見をよく聞き、より以上にステージの高い地区を目指し地区委員一丸となり頑張っていきたいと思っております。



高齢者施設で合唱中の荏原音楽倶楽部

地区日帰り旅行

品川北・南両地区合同



レインボーブリッジ通過中の屋形船

この度、品川北・南両地区合同で六月十八日(木)総勢五十名にて屋形船ツアーを行いました。

北品川の入り江を出て天王洲を通り東京湾の風に吹かれながらお台場に入り、茜色に染まる東京湾を眺めながら揚げたての天麩羅や船盛り、舌鼓を打ち、早くもカラオケを歌い出し、日の沈む頃には、あちらこちらに提灯の明かり付けた屋形船が行きかうなか、レインボーブリッジの下を抜け隅田川をのぼりイルミネーションで飾られた数々の橋をくぐり抜け、清洲橋迄行き東京スカイツリーを眺め、又高層ビルや数々のビルの明かりが外国の夜景の様に見えました。品川北と南が合同で事業を実施するのは初めてです。

普段から隣り合わせの地区でもあり、頻りに顔を合わせる機会も多いことか

ら、心も和み隣り同志で話も弾み、すっかり打ち解けられた船旅となり、皆、また会おうねと名残りを惜しみながら家路につきました。

のんびり、ゆったり城ヶ島の旅

大井・大井西・八潮三地区合同

去る、六月十四日(日)三地区合同による日帰り旅行が実施されました。

当日は、総勢三十九名が一路、三浦半島の三崎を目指しましたが生憎の曇天で雨も心配されたので、行程を一部変更して行われました。

まず、城ヶ島海岸の散策は予定通りでしたが、晴れていれば見える富士山も大海原も残念ながら見えませんでした。

続いては、予定を変更して三浦港魚市場「うらり」で買い物、午前中だったので品物もたくさんあり、財布の紐がゆるんだ人も。

メインは、城ヶ島京急ホテルでの昼食。豪華な料理と適度なアルコール、カラオケで自慢ののども、そして入浴とそれぞれが時間いっぱい楽しめました。ただ、交流も目的でしたが、座席が地区別になつたのはちよつと残念。記念写真のあとは、バスで二直線に品川へ、予定どおり無事に帰着しました。



三浦半島 城ヶ島

会員さん趣味のコナー

『野球に魅せられて』

品川北地区 和泉 秀雄

終戦時、私は小学五年生で初めて野球と云うスポーツに出会い魅せられて、あれから七十年いまだに野球を楽しんでおります。

物資のない時代、母親に布製のグローブ、丸太を削ったバットを工夫して使っていました。中学生でクラブチームに入り、暗くなる迄夢中になって居た事を思い出します。

その後、小中学生の少年野球のコーチ、監督、又学生の校外野球指導として教えたり、青年野球に居た事も有りました。

現在は、還暦野球で楽しんで居ります。平成八年六十歳の時入部、平均年齢七十二歳の野球好きおじいちゃんが集まっています。

全日本関東大会、各地域の大会に出場し、全国大会で優勝もしております。楽しむことを常に常に笑顔で常に健康に留意して、友愛と親睦が最優先で人生最後のチャン



第19回全日本選抜軟式野球大会 2003.9.26~ 栃木県足利市・佐野市

スと捉え、悔いのない人生をと野球好きな人もう一度青春を取戻しませんか？募集しています。

副会長就任のご挨拶

去る六月十二日の臨時理事会に於いて、品川区シルバー人材センターの副会長に選任され、身に余る光栄と重責に身の引き締まる思いでございます。

高齢者が健康で生涯現役で働ける社会が、今、求められています。

当会の会員数は、男性一四五七名、女性一〇六二名で合計二五一九名で、平均年齢は七四・三歳ですが、皆様方健康でお元気に就業されています。らしくしゃいます事、大変うれしく思っています。

当センターは「安全は、すべてに優先する」と云う理念の下、安心して働ける多くの職場が用意されています。

今後とも、皆様の強いサポートを賜りながら、本センターの益々の発展と会員皆様のご健勝を祈念致し、副会長の就任のご挨拶とさせていただきます。

副会長 本多 美津子



共助会秋の一泊旅行のご案内 11月15日(日)～16日(月)1泊2日

11/15 (日)	大井町駅7:30 → 石川SA → 諏訪湖SA → 松本IC → 風穴の里 → 安房トンネル → 12:40 首都高・中央高速(休憩) (休憩) (休憩)
	平湯バスターミナル13:30 → 14:30 飛騨高山温泉 ひだホテルプラザ (昼食) (到着後ホテル周辺の名所、旧跡の古い町並みの上三之町や陣屋などをゆっくりとお楽しみください)
11/16 (月)	ホテル(各自で名物朝市散策)8:00 → 高山IC → 白川郷IC → 世界遺産 白川郷(合掌造りの民家を見学) 朝市までホテルから徒歩7分 高山・東海北陸自動車道
	11:30 高山郊外(名物ほう葉味噌の昼食)12:20 → 安房トンネル → 風穴の里・諏訪湖SA → 18:00 大井町 (昼食) (休憩)長野・中央道(休憩) 首都高速



1日目のみどころ

平湯までは安房トンネルで結ばれ昔の難所もわずかな時間で通過。里はまだ紅葉も見られます。

【飛騨高山】

ホテルには14時30分に到着。古い町並みの上三之町や陣屋、国分寺などホテル近くの名所、旧跡見学や、ゆっくりとお風呂でのんびりどころでも・・・。



ホテルのお楽しみ

【屋台】

高山まつりの山車がロビーに展示。是非バックにお写真を撮る。

【お風呂】

2つの大きな大浴場や展望風呂でゆったり旅のお疲れを。

【ご宴会】

各地区代表の歌声や、大抽選会を企画しております。

【朝市】

宮川の朝市まで徒歩7分。地元のおばちゃんとの交流を。



2日目のみどころ・お買い物

【世界遺産：白川郷】

1995年世界遺産に指定された白川郷はのどかな合掌造りの民家が立ち並び、人々の知恵や卓越した技術、壮大な規模と歴史に圧倒されます。

【昼食場所】

食事は飛騨名物の「飛騨牛のほう葉味噌焼き」薫り高いほう葉で包むと焼きあがりは絶品。食が進みます。高山はほかに赤かぶやラーメンも有名。

会員へのご案内は9月初旬に行いましたが、申込みは10月1日(木)～センターの各事務所に参加費17,000円を添え早めに申し込んでください。

あとがき

私は、小学校5年生で終戦を迎えました。その年の十月に先生に連れられて東京見学、宮城から靖国神社、そして焼け野原となった新宿の瓦礫の山。今も私の脳裏から離れません。

今年、戦後七十年ということ、「戦争や原爆」その悲惨さを新聞やテレビがいろいろな企画で報道しました。戦争をなくし「人間は生きる」との尊厳をしみじみと感じました。このことを戦争を知らない若い世代の人々に語り継ぐことが、私たちの責務ではないかと思えます。

今年も共助会の一泊旅行が決定しました。十月一日申込み受付開始です。先着順ですから遅れないように申込んで下さい。

(担当理事 柳下恭治)

会員総数

平成27年8月末日現在

2,519名

男 1,457名

女 1,062名

就業相談

仕事のことや職場の悩みなど、理事が相談をお受けします。

10月8日(木) 午後1時～午後4時
荏原支部 本多 泉 理事

11月12日(木) 午後1時～午後4時
荏原支部 本多 泉 理事

12月10日(木) 午後1時～午後4時
荏原支部 和伊 泉 理事